

時代は変わってゆく

～ジェンダーレスな社会を～

《動機・目的》

○日本におけるLGBTの歴史

2017年3月 日本政府はいじめ防止基本方針を改訂し、初めてLGBT生徒の保護の項目が盛り込まれる

2015年 東京都渋谷区議会で、「パートナーシップ制度」が認められる

2020年4月1日から、全国13自治体で「パートナーシップ制度」が認められる予定

○アメリカにおけるLGBTの歴史

1970年代 ゲイパレード「プライド」の開催

2015年 アメリカ全州で同性婚が合憲になる



2018年日本におけるセクシャルマイノリティの割合は約10%で、左利きに人の割合とほぼ同じ
なのに！

諸外国に比べ、セクシャルマイノリティを考慮した社会づくりが遅い！

セクシャルマイノリティについて多くの人に理解してもらいたい！



SDGsの5番
「ジェンダーの平等を実現しよう」
にもつながる

《目標・評価基準》

西高校でのアンケート調査の結果をもとに、セクシャルマイノリティに関するパンフレットを作成をし、高知市内また、高知西高校に配布、掲示することでセクシャルマイノリティへの理解度向上を目指す

多くの人に話を聞き、多様な情報を取り入れられたか

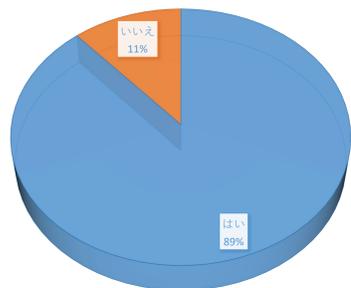
・セクシャルマイノリティには様々なパターンがあり、一つの視点からの情報では不十分になってしまうから

アンケート結果をもとにわかりやすいパンフレット・ポスターを作ることができたか

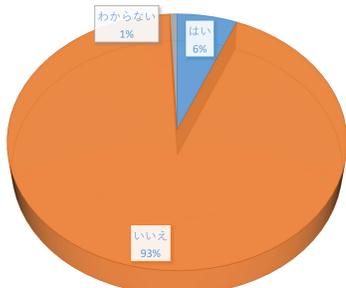
・多くの人の手に渡ることを想定して、正しい情報を含みながらも見やすい作品が必要だから

《実施内容①：校内でのアンケート調査》

Q.LGBTまたはLGBTQという言葉
を聞いたことがありますか？



Q.あなたは今までに自分がLGBTに該当するか
もしれないと感じたことはありますか？



《実施内容②：レインボー高知さんとの意見交換》



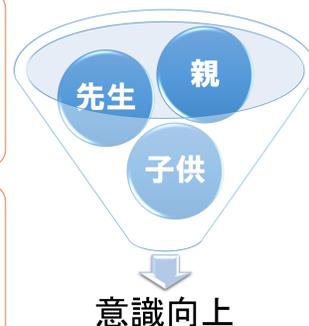
様々な年代の人に向けての講演会

・学生だけでなく親、先生への講演も必要



制服制度について

・当事者にはとても辛い経験として残る



《実施内容③：パンフレットの作成→市内に配布》

アンケート結果やレインボー高知さんからのアドバイス、協力をもとに幅広い年代の方々に親しまれるポスターを作成した。

《成果・まとめ》

アンケート調査

・セクシャルマイノリティの認知度は非常に高い
・正しい理解をすることが必要
・若い世代と中高年者の間で認識が違う

レインボー高知さんとの意見交換

・学生・親・先生、それぞれへの教育が必要
・教育機関の問題有り

パンフレット作成から配布まで

・情報なし

《今後の見通し》

- ・パンフレットを高知市長に直接お届けする
- ・オーテピア、高知駅など高知市の主要部に設置させてもらう
- ・学生・親・先生、それぞれを対象にした講演会を行う
- このように3段階に分けることで、様々な世代や立場から理解が得やすくなるだろう
- ・LGBTに関するフォーラムなどに参加し、アンケート結果などを用いた発表をしたい
- ・団体などによるLGBTサポートだけでなく、私たち高校生も参加すべき。

【参考文献】

レインボー高知HP

<https://www.rainbow-kochi.com/>

LGBTの割合は？日本と世界でグラフ化。[2020年最新の調査結果]

<https://jibun-rashiku.jp/column/column-1210>

はじめて学ぶLGBT 基礎からトレンドまで

著：石田仁